

1 各部の名称と説明



- ① 電源ボタン
電源の ON、OFFを行います。
- ② 温度上昇 ボタン
”▲” ボタン 設定温度を上げる時に押します。
- ③ 温度下降ボタン
”▼” ボタン 設定温度を下げる時に押します。
- ④ モード表示
”▲”、“▼” ボタンを押した時に点灯します。
- ⑤ 時間設定ボタン（消し忘れタイマーボタン）
消し忘れタイマーを設定出来ます。押す毎に4段階、OFFに変化します
2時間、5時間、8時間、12時間経過後に電源が切れます。
- ⑥ デジタル画面
温度を表示します。通常は現在温度を表示します。
設定温度ボタンを押しますと、設定温度を表示します。
- ⑦ 運転(稼働)表示
負荷(ヒーター等)の運転(稼働)中は点灯します。
- ⑧ 電源表示
電源を入れた場合、点灯します。

2 基本仕様

定格入力電源	交流単相 85V ~ 265V
定格出力電源	交流単相 85V ~ 265V
周波数	50Hz / 60Hz
抵抗性負荷	15A 100Vの場合 1500Wまで 200Vの場合 3000Wまで
設定温度範囲	0°C ~ 60°C センサーの先端を希望する場所に置いて温度を検知します。
センサーの種類	NTC
センサー線の長さ	2m50cm (2500mm) 但し、延長することは問題ありません。
タイマー (消し忘れ) (お休み)	4段階切り替え 2時間、5時間、8時間、12時間 経過後に電源が切断されます。
使用大気温度条件	0°C ~ 40°C
使用大気湿度条件	85%以下
寸法	70(W)x120(H)x44(D) mm

3 配線を行う手順

① 裏ぶたのネジ



裏ぶたを取る為に下に付いているネジを回してふたの固定を解除する

②

裏ぶたを取る



次に、裏ぶたを下にスライドしますと、裏ぶたが外れます。上の方に溝がありがガイドになっています。

③ 電源用の配線



Ⓐ
電源接続端子です。
ここに定格の電源を接続
します。(100V又は200V)
接続するときには接続用の
端子を使用してしっかりと
固定して下さい。

④ 負荷用の配線



Ⓑ
負荷(ヒーター等)接続端子
です。
ここに、定格の負荷を接続
します。
接続するときには接続用の
端子を使用してしっかりと
固定して下さい。

⑤ センサー線の配線



Ⓒ
センサー接続端子です。
左の2か所を使用します。
上を押すようになってい
ますボタンを押しながら
下からセンサー線を突
っ込みますと接続出来
ます。
接続が完了したら、ボタ
ンを押すのを止めて下
さい。
固定が完了します。
センサーの先端で温度を
検知しますので、設置
場所を良く考慮する必
要があります。
(右の2か所は別の目的
で一般的には使用しま
せん)

注記: センサー線をⒸに差し込む場合、ボタンを強く押ししっかりと固定して下さい。
差し込みが終了しましたら、少し引っ張って差し込み具合を確認して下さい。
差し込みが不十分ですと、温度表示の不良につながります。

温度センサーを使用しない場合、又、ご希望により間欠モードでの運転が可能です。
120秒間を 10秒ごとに 10秒、20秒、30秒 ~の様に 12段階に分けその秒数の
間隔で 電源を ON-OFFを行います。
間欠モードでは設定した秒数の間は電源がONになります、その秒数が終わると一旦30秒間は
電源がOFFになります。 30秒間経過後、設定した秒数がONになります。

(1)例としまして、60を設定したとした場合：
60秒間電源がON—30秒間電源がOFF—60秒間電源がON— この繰り返し

(2)例としまして、80を設定したとした場合：
80秒間電源がON—30秒間電源がOFF—80秒間電源がON— この繰り返し

間欠モードを設定する場合は電源ボタンを押して一旦電源を切断し、再度電源ボタン
を3秒以上、押し続けますと間欠モードに切り替わります。

5 間欠モードの解消と初期化

一旦コンセントから取って、電源をOFFにします。 20秒間~30秒間待つて、コンセントに入れずに
即ち電気をつながずに電源ボタンを押し続けます。 押し続けた状態でコンセントを入れ電気を通します
そうしますと、画面に温度表示がされます。 温度表示がされますと、押し続けていたボタンを離して
押すのをストップして下さい。 あまり押し続けますと、電源が入らなくなりますので、直ぐに押すのを
止めて下さい。

この作業が良くできない場合は何回か同じ様に繰り返してトライして下さい。

注記：単純に温度設定を行っている場合でも、意識をせずに電源ボタンを長く押した為
間欠モードに自動的に変わる場合があります。
この場合も上記の作業を行って初期化をして下さい。

注意事項

良くある不良現象

センサー線の接続不足、センサー線の途中切断がありますと、サーモスタットは自動的に間欠
モードでの働きとなります。

間欠モードに自動的に切り替わりますと、表示画面が1から10までのどれかの数字が表示
されます。 表示画面の数字が "▲"、"▼" ボタンを押しても 数字が10以上に行かない
場合は間欠モードに切り替わっています。

この様な現象になりましたら、再度センサー線がきちんと接続されているかどうかの確認を
お願いします。

確認をしても変わらない場合は、センサー線や電源用の電線等を一旦と取り外し最初の状態に
して再度の組立をお願いします。

以上の作業を行っても変化が無い場合は弊社にご連絡下さい。

